

3. 全体整備方針

3.1 修景整備の基本テーマ

「浦安市総合計画」と境川に関する市民のニーズを踏まえ、境川修景整備の前提条件と基本テーマを以下のように定める。

(前提条件：治水安全性の確立と水質向上)
内水氾濫や高潮に備えた安全なまちづくり
水と親しめるキレイな水質

(境川修景整備の基本テーマ)

水辺の開放と地域住民の生活を彩る憩いの場づくり

4つの要素

1. 緑のみち

街路樹などの緑豊かな潤いと安らぎの散策路・自転車道の整備。
散歩、ジョギング、自転車、花壇造り等

2. 水のみち

境川の水辺をつなげる親水施設の整備。
投網・べか舟体験、水辺の散策、釣り、カヌー、貝掘り等

3. 歴史のみち

境川周辺の歴史的街並みの利活用
漁村生活を再現するフィールドミュージアム、歴史的街並み散策等

4. 賑わいの水辺

歴史的市街地地区やシビックセンター地区における水辺の賑わいの創出。
カフェテラス、水上レストラン、レストラン船、マルシェ、
水辺活用の仕組み作り、市民・利用者主体のエリアマネジメント等

図 3.1 基本テーマ

3.2 前提条件

境川の修景整備にあたっては、次の2つを前提条件とする。

1. 内水氾濫や高潮に備えた安全なまちづくり

- ・気候変動に伴う集中豪雨の多発化に対応するため、市街地の雨水浸透性と貯留施設の設置及び排水機場の能力向上等、総合的な内水氾濫防止に向けた対策を推進する。
- ・大地震に備え、河川管理者との協議を継続し、水門、排水機場、護岸等の河川施設の耐震診断を促進し、必要な箇所については耐震改修を促進する。
- ・河川管理者との協議を継続し、河口水門及び河口排水機場整備を促進する。

2. 水と親しめるキレイな水質

水質の良さは川の魅力の大きな要素である。川の魅力をより一層高めるため、現在の環境基準を満たすことに止まらず、「ごみなどの浮遊物がなく・悪臭が無く・透明で・きれいな砂地の川底が見える川とすること」を目標に、下記のような対策で水質の向上に努める。

- ・ヘドロの浚渫工事を促進する。
- ・沈船や投棄物の撤去を行う。
- ・旧江戸川から流水による水循環の改善について検討する。
- ・粉塵等を含む雨水排水をろ過する施設（集水桝等）の整備について推進する。
- ・市民の参加による河川清掃活動を促進する。

3.3 緑のみち

3.3.1 現状と課題 — 上流部の緑と歩行者空間の充実 —

境川沿川の緑の分布と歩行者空間は、上流部のA・Bゾーンでは極めて少なく、下流部のD1・D2ゾーンでは緑も歩行者空間も充実度を増している。浦安市の重要な緑のネットワークに位置付けられていることから、上流部を中心に、緑の充実に向けた工夫が求められる。



図 3.2 緑のみち現状図

表 3.1 緑のみち現状と課題

ゾーン	歩道	管理通路	街路樹	街灯	水辺の眺望	主な課題
A	× 無し	× 無し	× 無し	× 無し※3	○ あり	緑の充実、 歩行安全対策
B	× 無し	○ あり	× 無し	○ あり※2	○ あり	緑の充実
C	○ 歩道と管理通路一体化		△ 一部のみ	○ あり※2	○ あり	
D1-1	△ 左岸のみ	△ あり※1	△ 一部のみ	× 左岸のみ	× 眺望不可	水辺眺望、 管理通路整備
D1-2	○ あり	△ あり※1	○ あり	× 無し※3	× 眺望不可	水辺眺望、 管理通路整備
D2	○ 緑地内	○ あり	○ あり	× 無し※3	○ あり	沿川緑地との一体的整備

※1：未舗装区間がある ※2：周辺の修景整備に合わせたデザインの採用 ※3：管理用通路を照らす街路灯が無い。

3.3.2 将来構想

- ・歩行者や自転車が安全快適に利用できる緑豊かなみちを形成する。
- ・緑のみちを沿川の公園や鉄道駅等と連結し緑のネットワークを形成する。
- ・まちにつながる主な道路との結節点には街角広場や花壇などを配置する。
- ・緑のみちからの水辺の眺望を確保する。



図 3.3 緑のみち将来構想

3.3.3 街路樹などの緑豊かな潤いと安らぎの散策路・自転車道の整備

- ・河川管理用通路・緑道・沿川道路の緑地帯、近接する公共用地の緑等を活用して、
- ・緑豊かで潤いと安らぎを感じられる散策路や自転車道の整備を進め、
- ・多くの市民が休息・散歩・ジョギング・自転車・花見・花壇造り等を楽しめるようにする。



図 3.4 緑のみちイメージ図

3.4 水のみち

3.4.1 現状と課題

- ・ 広い水面がある。
- ・ イベント時以外は、舟運・SUP・カヤック等の水面利用がほとんど見られない。
- ・ ABCゾーンの水質悪化。Aゾーンでは小段へのアクセスが不便、小段が老朽化しており危険。
- ・ D1ゾーンでは水辺へのアクセス箇所が極めて少ない。

水質改善とバリアフリーの水辺アクセス箇所の確保が課題である。

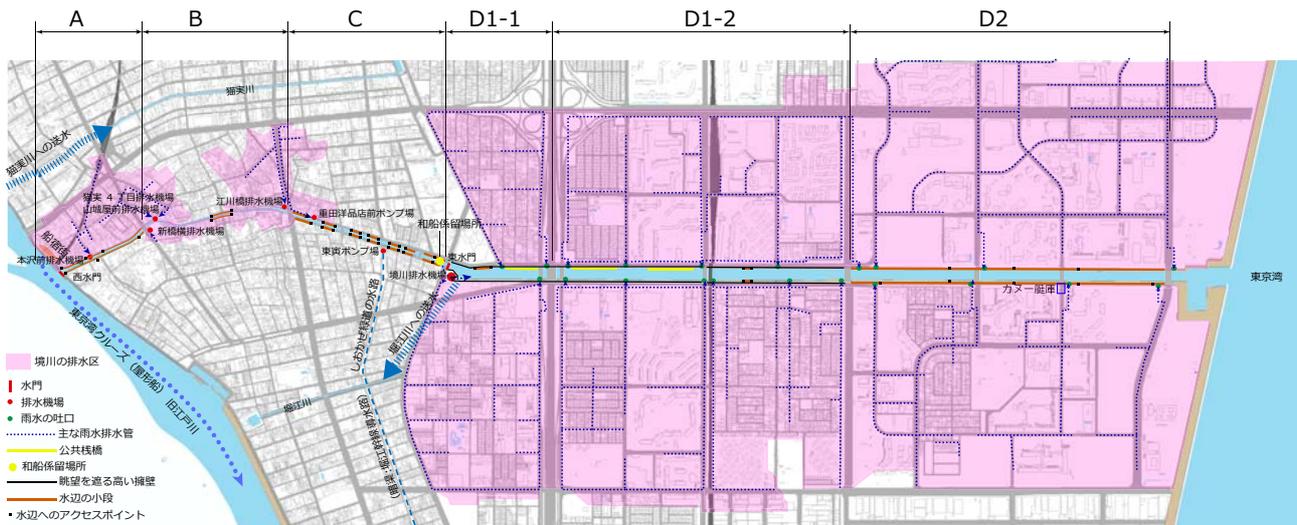


図 3.5 水のみち現状図

表 3.2 水のみち現状と課題

ゾーン	水位変動	内水排水	水質	水辺へのアクセス	水辺の小段	主な課題
A	東西水門間は水位安定化区間	× 排水機場の能力不足	× 水門閉鎖で水質悪化する 場合がある	△ 形状不備	× 破損	水辺小段等修復・沈船等
B				× 箇所不足	△ 部分整備	(新橋付近を除き整備済み)
C				○ 多数あり	△ 一部水没	(整備済み)
D1-1	感潮区間	× 地盤沈下の影響で満潮時の排水能力不足	○ ABCゾーンより水質は良好	× 箇所不足	△ 部分整備	水辺小段延伸・沈船等
D1-2				× 箇所不足	× 無し	水辺小段延伸等
D2				△ 形状不備	△ 一部水没	水没小段修復等

3.5 歴史のみち

3.5.1 現状と課題 — 残されている漁村の形態が急速に失われつつある —

境川の兩岸に生まれた昔の漁村集落に始まり、海面埋め立てで延伸された境川と沿川市街地など、浦安の形成過程はBゾーンを中心に、沿川の街並みの中にその痕跡を残している。

- ・ 神社や寺院などの宗教施設が多く残されている。
- ・ 昔の漁村の生活がわかる民家が残されているが、文化財指定されているものは少なく、その他の民家は建替え等で急速に数を減らしつつある。
- ・ 昔からの道路や路地等の漁村の形態が比較的よく残っている。

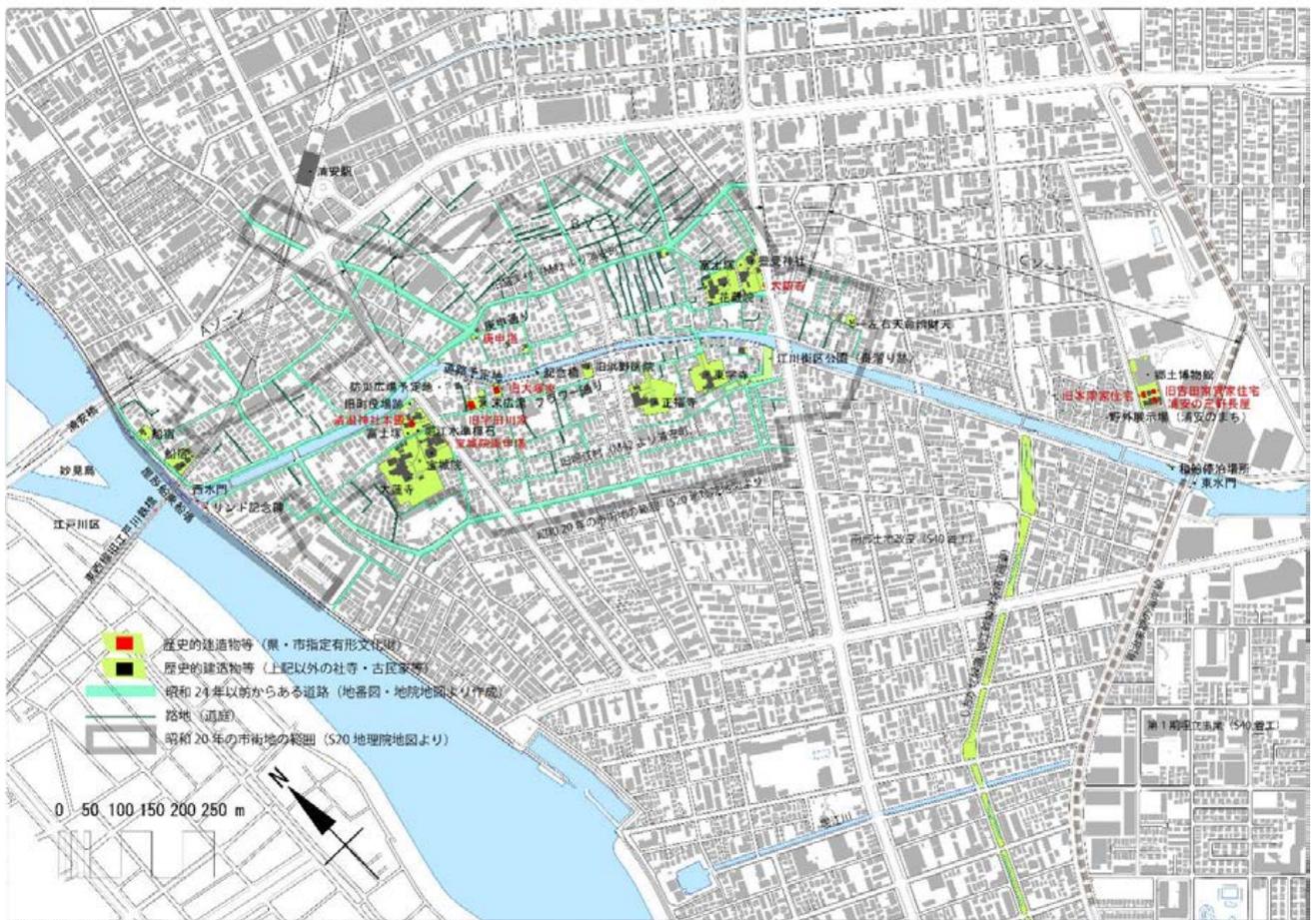


図 3.8 歴史のみち現状図

3.5.2 将来構想 — 境川周辺の歴史的街並みの保全と利活用 —

- ・市民を始め観光客にも浦安の歴史を知ってもらうために、貴重な歴史的景観を活用し、境川と沿川の街並みを繋ぐ歴史探訪ルートを設定する。
- ・案内板^{※1}を設置する。
- ・歴史ガイド事業等の実施を促す。

※1 浦安市公共サインガイドラインに基づきデザインの統一を図る。

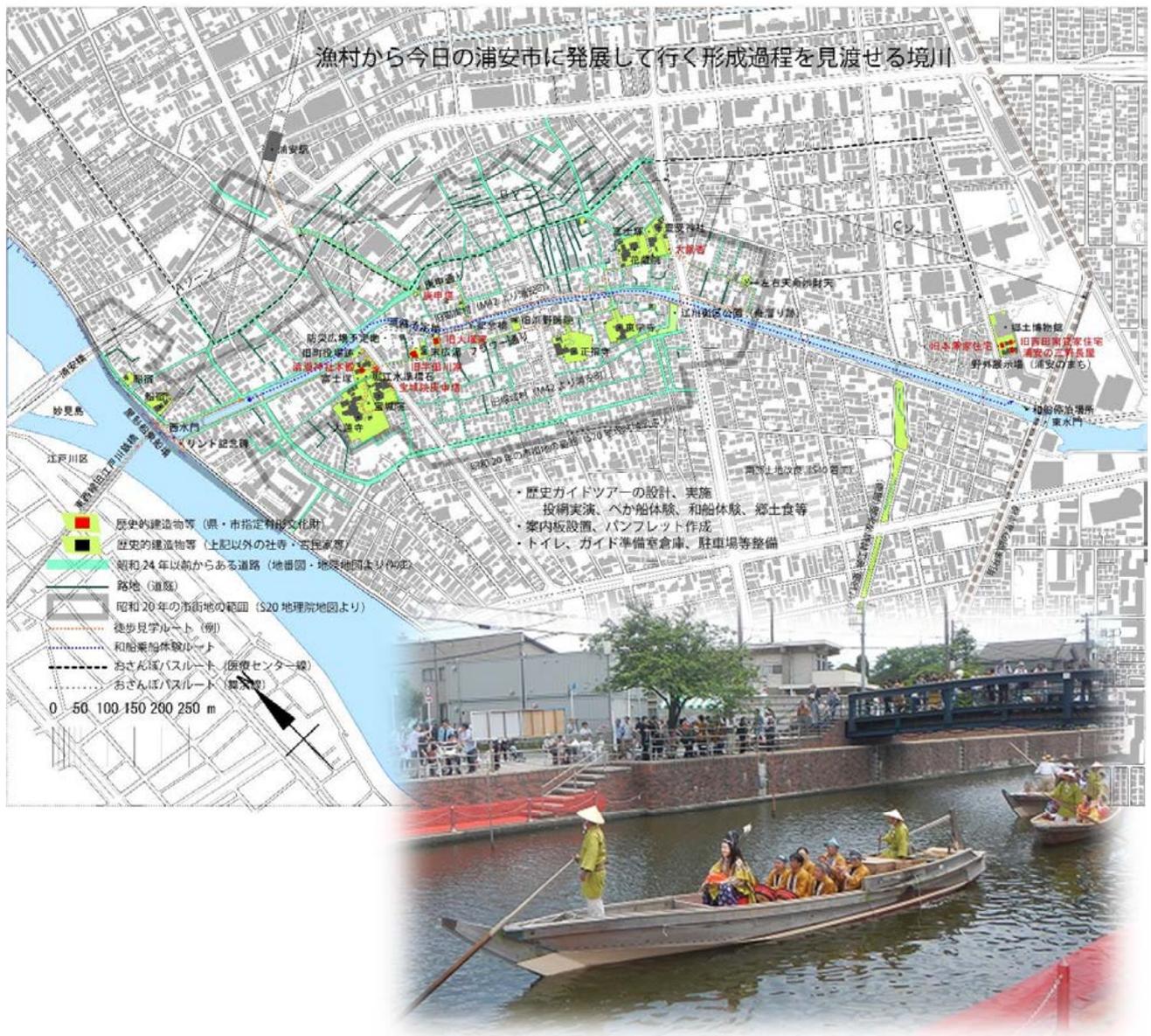


図 3.9 歴史のみち将来構想

歴史的建物



案内板



歴史ガイド事業

図 3.10 歴史のみち活用イメージ図

3.6 賑わいの水辺

— 歴史的市街地地区、シビックセンター地区における水辺の賑わいの創出 —

境川沿川の人々が多く集まる元町地区の歴史的市街地地区やシビックセンター地区などについては、河川水面や歩行者空間を商業活動の場として開放する。そこで、例えば水上レストラン、レストラン船、オープンカフェ、マルシェ等の誘致や、水辺活用の仕組みを作り、市民・利用者主体のエリアマネジメントを行い、賑わいの水辺づくりを行う。



写真 3.1 イタリア ミラノ市
ナヴィリオ運河の骨董市



写真 3.2 広島県 広島市太田川のオープンカフェ
出典 <https://biz.tabido.jp/contents/000102/index.html>



写真 3.3 愛知県 岡崎市乙川のマルシェ